

作成日：2020年08月17日

改訂日：

安 全 デ ー タ シ ー ト

1. 製品及び会社情報

製品の名称：CPJ-L ミニパック プレミックスモルタルパック
 会社名：ショーボンドマテリアル株式会社
 住所：埼玉県川越市芳野台2-8-10
 担当部門：品質保証課
 電話番号：049(225)5611 F A X：049(225)5616
 緊急連絡先：品質保証課 電話番号：049(225)5611
 整理番号：CPJ-L ミニパック プレミックスモルタルパック-00

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：	引火性液体	分類できない
健康に対する有害性：	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分2
	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性：	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
 H318 重篤な眼の損傷
 H350 発がんのおそれ
 H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
 H371 臓器の障害のおそれ
 H372 長期間にわたる、または反復暴露による臓器の障害

注意書き

- 予防策: 屋外または換気の良い場所で使用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
粉塵を吸入しないこと。
環境への放出を避けること。
- 対 応: 火災の場合には、消火に粉末／炭酸ガス／泡消火器を使用すること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。
汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。
下記の場合は直ちに医師の診断／手当を受けて下さい。
眼に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。
漏出物を回収すること。
- 保 管: 容器を密閉し、換気の良い冷暗所で、施錠するなど関係者以外が立ち入れないような管理された場所で保管すること。
- 廃 棄: 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化審法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲 (含有量%)	PRTR法	労働安全衛生法 通知物質57条2		
結晶質シリカ	1-548	14808-607	43.3	該当しない	政令番号165-2(0.1%以上)		
ポルトランドセメント	3CaO・SiO ₂ 2CaO・SiO ₂	1-194	12168-85-3	65997-15-1	29.8	該当しない	政令番号545-2(0.1%以上)
	3CaO・Al ₂ O ₃	9-2408	12042-78-3				
	4CaO・Al ₂ O ₃ ・Fe ₂ O ₃	—	—				
	CaSO ₄ ・2H ₂ O	1-193	7778-18-9				
水酸化カルシウム	1-181	1305-62-0	0.1~1.4	該当しない	政令番号317(1%以上)		

4. 応急措置

- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄をつづけること。直ちに眼科医の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合: 布で素早く拭き取り、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激、または、発疹が生じた場合は、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合: 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。

- 気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合： 直ちに水で口をすすぎ、医師の診断を受ける。
5. 火災時の措置
 消火剤： この製品自体は燃焼しない。
 使ってはならない消火剤： 特になし
6. 漏出時の措置
 人体に対する注意事項： 保護具及び緊急時措置：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。関係者以外の立ち入りを禁止すること。
 作業者は適切な保護具(手袋、保護眼鏡等)を着用し、眼、皮膚への接触や粉塵の吸入を避けること。風上に留まること。低地から離れること。
 環境に対する注意事項： 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。
 封じ込み及び浄化の方法・機材： 飛散したものは、掃除機等で吸い取るか、スコップ、箒等でできるだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。
 床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。
 やむをえず床面等に残ったものは、水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。
 回収物や回収した洗浄水は、13. 廃棄上の注意 に従い、廃棄又は排水する。
7. 取扱い及び保管上の注意
 取扱い：
 技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。
 局所排気・全体換気： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
 安全な取扱い注意事項： 周辺で火気の使用、発生のないこと。
 使用前にショーボンドマテリアルホームページ「樹脂製品の取り扱いについて」「樹脂製品を安全にご利用いただくために」を必ず参照すること。
 ホームページアドレス：<https://www.sb-material.co.jp/resin/download.html>
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 接触、吸入又は飲み込まないこと。
 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
 屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。
 取扱い後は、よく手を洗うこと。
 接触回避： 「10.安定性及び反応性」を参照。
 保管：
 技術的対策： 保管場所には、危険物を貯蔵し取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設定を設けること。
 保管条件： 酸性の製品、水と接触のおそれがない場所に貯蔵する。
 容器を密閉して乾燥した場所で施錠して保管すること。
 混触禁止物質： 「10. 安定性及び反応性」を参照。
 容器包装材料： 包装、容器の規制はない。防湿性の容器を使用する。
8. 暴露防止及び保護措置
 設備対策 換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
 多量に扱う場合は、集塵装置を設置する。
 許容濃度
 管理濃度： $E = 3.0 / (1.19Q + 1)$
 E: 管理濃度 (mg/m³)
 Q: 当該粉じんの遊離けい酸含有率 (%)

許容濃度:

シリカ : 日本産業衛生学会(2015年) 吸入性結晶質シリカ 0.03 mg/m³(TWA)
 :ACGIH(2015年) 0.025 mg/m³(TLV-TWA)
 ポルトランドセメント : 日本産業衛生学会(2017年) 吸入性粉じん 1 mg/m³(TWA)
 総粉じん 4 mg/m³(TWA)
 :ACGIH(2018年) 1 mg/m³(TWA)

保護具

呼吸器の保護具: 防塵マスク
 手の保護具: 保護手袋
 眼の保護具: 保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具: 作業服

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等: 粉末・砕石
 色: 灰色
 臭い: データなし
 沸点、初留点及び沸騰範囲: データなし
 引火点: データなし
 燃焼または爆発範囲: データなし
 蒸気圧: データなし
 比重: 2.78
 自然発火温度: データなし
 その他情報: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性: 普通の条件での反応はない。
 反応性: 水と反応して安定固化する。
 避けるべき条件: 水および湿気を避ける。
 混触危険物質: 酸性の製品。水と接触すると強アルカリ性(pH12~13)を呈する。
 危険有害な分解生成物: 該当しない。

11. 有害性情報

急性毒性 : データなし
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : GHS分類 区分1
 水と接触すると強アルカリ性(pH 12~13)を呈するため、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。
 目に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: GHS分類 区分1
 水と接触すると強アルカリ性(pH 12~13)を呈するため、眼に重篤な損傷を与える可能性がある。
 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データ不足のため分類できない。
 原材料の一部に極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。
 生殖細胞変異原性 : GHS分類 区分2
 原材料の一部に含まれる結晶質シリカについて、In vivoでは、気管内注入によるラット肺胞上皮細胞を用いたhprt遺伝子突然変異試験で陽性、投与方法は不明であるが、マウス肺組織のhprt遺伝子突然変異試験で陰性、腹腔内投与によるマウス小核試験で陰性、ばく露方法は不明ながら、ヒトリンパ球の染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陽性、ラット肺、末梢血を用いた酸化DNA傷害試験で陽性又は陰性、ラット肺上皮細胞のDNA切断試験で陽性である(SIDS(2013)、CICAD 24(2000)、DFGOT vol. 14(2000)、IARC 68(1997))。In vitroでは、哺乳類培養細胞の遺伝子突然

変異試験で陽性、陰性の結果、哺乳類培養細胞の小核試験で陽性、陰性の結果、染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陰性である (SIDS (2013)、CICAD 24 (2000)、DFGOT vol. 14 (2000)、IARC 68 (1997))。以上より、ガイダンスに従い、区分2とした。なお、本物質の遺伝毒性は、当該物質からの、あるいは当該物質による炎症細胞からの活性酸素種に起因すると考えられる (SIDS (2013)、IARC 100C (2012))。

発がん性 : GHS分類 区分1A

原材料の一部に含まれる結晶質シリカについて、多くの疫学研究結果において、本物質 (石英) を含む結晶質シリカへの職業ばく露と肺がんリスクの増加との間に正の相関が認められており、特に複数の研究結果をプールし異なるメタ解析を行っても、相対リスクは一貫して有意な増加を示した (IARC 100C (2012)、SIDS (2013))。すなわち、本物質の形状を有する結晶質シリカ粉じんの吸入ばく露によりヒトで肺がんの発症リスクが増加するのは十分な証拠があるとしている (IARC 100C (2012))。

一方、実験動物では雌雄ラットに本物質 (空気力学的中央粒子径 (MMAD) : 1.3 μ m) を 1 mg/m³ で2年間吸入ばく露した試験、また雌ラットに本物質 (MMAD: 2.24 μ m) を 12 mg/m³ で83週間鼻部ばく露した試験において、ばく露群では肺腫瘍の有意な増加がみられ、組織型としては腺がんが多かった。さらに、雌ラットに本物質 (MMAD: 1.8 μ m) を6.1、30.6 mg/m³ で鼻部ばく露した試験でも、用量依存的に肺腫瘍の増加がみられ、組織型では扁平上皮がんが最多で、細気管支/肺胞上皮がん、又は腺腫も多くみられた (IARC 100c (2012))。

以上、ヒト及び実験動物での発がん性情報より、IARC は本物質粉じんばく露によるヒト発がん性に対し、1997年に「グループ 1」に分類し、2012年の再評価でも分類結果を変更していない (IARC 68 (1997)、IARC 100C (2012))。他の国際機関による発がん性分類結果としては、日本産業衛生学会が「第1群」に (産衛学会勧告 (2015))、ACGIHが2004年以降「A2」に (ACGIH (7th, 2006))、NTPが結晶質シリカ (吸入性粒子径) に対して、「K」に分類している (NTP RoC (13th, 2014))。よって、本項は区分1Aとした。

特定標的臓器毒性、単回ばく露 : GHS分類 区分2 (呼吸器)

製品中最大で約1.4%含まれる水酸化カルシウムに、ヒトに気道刺激性、粘膜腐食性があり、咳、粘膜の火傷、肺水腫、嘔吐、胃痙攣を引き起こすとの報告がある (ACGIH (7th, 2001)、EPA Pesticide (2005)、HSDB (Access on September 2014))。実験動物のデータはない。ヒトの気道を刺激し肺水腫を引き起こすとの記載がある。また原材料の一部であるポルトランドセメントに気道刺激性があるとの報告がある (ACGIH (7th, 2010))。以上より、区分2 (呼吸器) とした。

特定標的臓器毒性、反復ばく露 : GHS分類 区分1 (呼吸器、免疫系、腎臓)

原材料の一部であるポルトランドセメントについて、吸入経路では、ヒトにおいて良性的じん肺症を生じ、気管支炎、呼吸困難、咳、痰、肺気腫、胸痛がみられるとの報告がある (ACGIH (7th, 2010)、DFGOT vol. 11 (1998))。実験動物についての有用な情報はない。原材料の一部に含まれる結晶質シリカについて、ヒトにおいて、多くの疫学研究において、本物質の職業ばく露と呼吸器への影響 (珪肺症、肺がん、肺結核) が確認されている。このほか、自己免疫疾患 (強皮症、関節リュウマチ、多発性関節炎、混合結合組織疾患、全身性紅斑性狼瘡、シェーグレン症候群、多発性筋炎、結合織炎)、慢性腎疾患及び無症状性の腎変性もみられている (SIDS (2013)、CICAD 24 (2000)、DFGOT vol. 14 (2000))。この腎臓の疾患は自己免疫が関連していると考えられている (SIDS (2013))。実験動物においても、ラットを用いた反復吸入ばく露試験により肺の線維化が確認されている (SIDS (2013))。以上により、区分1 (呼吸器、免疫系、腎臓) とした。

吸引性呼吸器有害性 : データなし

生態毒性:

魚毒性: 現在のところ知見なし

残留性/分解性: データなし

生体蓄積性: データなし

土壌中の移動性: 情報なし
 オゾン層への有害性: 情報なし

13. 廃棄上の注意

廃材、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約をして処理をする。
 容器、機械装置などを洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
 排水に関しては、水質汚濁防止法等の関連法令に適合するように充分留意する。
 固化後の廃棄物などについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。湿気、水濡れに注意する。
 容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。
 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。
 国連分類: 該当しない
 国連番号: 該当しない

15. 適用法令

消防法:	該当しない
毒物及び劇物取締法 :	該当しない
労働安全衛生法 : 粉じん障害防止規則	
通知物質57条2(通知対象物):	結晶性シリカ 政令番号165-2(0.1%以上) ポルトランドセメント 政令番号545-2(0.1%以上) 水酸化カルシウム 政令番号371(1%以上)
施行令第18条 名称を表示すべき有害物:	結晶性シリカ 政令番号165-2(0.1%以上) ポルトランドセメント 政令番号545-2(1%以上) 水酸化カルシウム 政令番号371(1%以上)
じん肺法:	第2条 施行規則第2条別表粉じん作業 「ポルトランドセメント」「結晶質シリカ」
有機溶剤中毒予防規則:	該当しない
化学物質排出把握管理促進法:	該当しない
化審法:	該当しない

16. その他の情報

注意事項:

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。
 新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。
 本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1)GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS):JIS Z 7253:2012)
- 2)GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 3)原材料/製品メーカーSDS

作成日: 2020年 8月 17日

改訂日:

安 全 デ ー タ シ ー ト

1. 製品及び会社情報

製品の名称: CPJ-L ミニパック 粗骨材パック
会社名: ショーボンドマテリアル株式会社
住所: 埼玉県川越市芳野台2-8-10
担当部門: 品質保証課
電話番号: 049(225)5611 F A X : 049(225)5616
緊急連絡先: 品質保証課 電話番号: 049(225)5611
整理番号: CPJ-L ミニパック 粗骨材パック-00

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性□	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	分類できない
	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性:	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル: 該当しない
注意喚起語: 該当しない
危険有害性情報: 該当しない

注意書き

予防策: 屋外または換気の良い場所で使用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
粉塵を吸入しないこと。
環境への放出を避けること。

対応: 下記の場合は直ちに医師の診断/手当を受けて下さい。□
眼に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、
身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。
漏出物を回収すること。

- 保管： 容器を密閉し、換気の良い冷暗所で、施錠するなど関係者以外が立ち入れないような管理された場所で保管すること。
- 廃棄： 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別： : 単一
化学名(一般名)： : 二酸化ケイ素(シリカ)
成分および含有量： : SiO₂ 90%以上
CAS No.: : -
官報公示整理番号： : -
(化審法・安衛法)

4. 応急措置

- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄をつづけること。直ちに眼科医の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合： 皮膚刺激、または、発疹が生じた場合は、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合： 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合： 直ちに水で口をすすぎ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤： この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤： 特に限定なし

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 作業者は防塵眼鏡、防塵マスク等を着用し、眼、皮膚への接触や吸引を避ける
環境に対する注意事項： 上下水に流さないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：
- 技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。
- 局所排気・全体換気： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
- 安全な取扱い注意事項： 周辺で火気の使用、発生のないこと。
使用前にショーボンドマテリアルホームページ「樹脂製品の取り扱いについて」「樹脂製品を安全にご利用いただくために」を必ず参照すること。
ホームページアドレス：<https://www.sb-material.co.jp/resin/download.html>
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
眼、皮膚への接触を避けること。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
粉じんを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。
取扱い後は、よく手を洗うこと。
- 接触回避： 「10.安定性及び反応性」を参照。
- 保管：
- 技術的対策： 保管場所には、取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設けること。
- 保管条件： 直射日光を避け、換気の良い所に保管する。

混触禁止物質: 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。
 「10. 安定性及び反応性」を参照。
 容器包装材料: 包装、容器の規制はない。防湿性の容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
 取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。

許容濃度

管理濃度: 設定されていない。

許容濃度: 設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具: 防塵マスク

手の保護具: 保護手袋

眼の保護具: 防塵眼鏡

皮膚及び身体の保護具: 作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等: 粒状

色: -

臭い: データなし

pH: データなし

沸点,初留点及び沸騰範囲: データなし

引火点: データなし

燃焼または爆発範囲: データなし

蒸気圧: データなし

蒸気密度: データなし

比重: 2.6

自然発火温度: データなし

その他情報:

10. 安定性及び反応性

安定性: 通常取り扱い条件下では安定である。

反応性: 特になし

避けるべき条件: 粉塵の拡散

混触危険物質: 特になし

危険有害な分解生成物: 特になし

11. 有害性情報

急性毒性 経口: 分類できない

経皮: 分類できない

吸入: 分類できない

皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 分類できない

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 分類できない

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 分類できない

生殖細胞変異原性: 分類できない

発がん性: 分類できない

生殖毒性: 分類できない

特定標的臓器毒性(単回暴露): 分類できない

特定標的臓器毒性(反復暴露): 分類できない

吸引性呼吸器有害性： 分類できない

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性： 分類できない

水生環境慢性有害性： 分類できない

生態毒性：

魚毒性： 現在のところ知見なし

残留性／分解性： データなし

生体蓄積性： データなし

土壤中の移動性： 情報なし

オゾン層への有害性： 情報なし

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託する。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。

海上輸送： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送： 航空法に定められている運送方法に従う。

国連分類： 該当しない

国連番号： 該当しない

15. 適用法令

消防法： 該当しない

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法 通知物質57条2(通知対象物)： 該当しない

施行令第18条 名称を表示すべき有害物： 該当しない

有機溶剤中毒予防規則： 該当しない

化学物質管理促進法： 該当しない

化審法： 該当しない

16. その他の情報

注意事項：

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。

新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。

本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS) :JIS Z 7253:2012)

2) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ

3) 原材料／製品メーカーSDS

作成日：2020年08月17日

改訂日：

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称：CPJ-L・ミニパック 混和液
会社名：ショーボンドマテリアル株式会社
住所：埼玉県川越市芳野台2-8-10
担当部門：品質保証課
電話番号：049(225)5611 F A X：049(225)5616
緊急連絡先：品質保証課 電話番号：049(225)5611
整理番号：CPJ-L・ミニパック 混和液 -00

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：	引火性液体	分類できない
健康に対する有害性：	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	分類できない
	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性：	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 警告

危険有害性情報： H319 強い眼刺激

注意書き

予防策： 屋外または換気の良い場所で使用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
環境への放出を避けること。

- 対 応： 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。
下記の場合は直ちに医師の診断／手当を受けて下さい。
眼に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。
漏出物を回収すること。
- 保 管： 容器を密閉し、換気の良い冷暗所で、施錠するなど関係者以外が立ち入れないような管理された場所で保管すること。
- 廃 棄： 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化審法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲 (含有量%)	P R T R 法	労働安全衛生法 通知物質57条2
スチレン・ブタジエン共重合体	登録済み	登録済み	20～30	該当しない	該当しない
界面活性剤	登録済み	登録済み	0.1～2	該当しない	該当しない
水等	登録済み	登録済み	65～75	該当しない	該当しない

4. 応急措置

- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄をつづけること。直ちに眼科医の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合： 布で素早く拭き取り、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激、または、発疹が生じた場合は、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合： 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合： 直ちに水で口をすすぎ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 水・炭酸ガス・ドライケミカル等の一般消火剤
本製品は水を多量に含むため、そのままでは引火・発火等の燃焼性はない。
製品乾燥物に着火した場合は、上記消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤： 特になし
- 特有の消火方法： 可燃性のものを周囲から取り除く。
消火活動は風上から消火する。
高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
- 消火を行う者の保護： 消火作業の際は、必ず耐熱性着衣などを着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項: 保護具及び緊急時措置: 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。関係者以外の立ち入りを禁止すること。
作業者は適切な保護具(手袋、保護眼鏡等)を着用し、眼、皮膚への接触を避けること。風上に留まること。低地から離れること。
- 環境に対する注意事項: 河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
- 回収・中和: 土砂等(の不燃物)で囲みビニールシート等でおおい、蒸気の発生を抑えながら回収する。
- 封じ込み及び浄化の方法・機材: 拡散を防止し、流出物をすくい取るか、又は、ウェス等を使用して空容器に回収する。
- 二次災害の防止策: 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、火災の発生を防ぐ。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
関係箇所に通報し応援を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い :

- 技術的対策: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。
- 局所排気・全体換気: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
- 安全な取扱い注意事項: 周辺で火気の使用、発生のないこと。
使用前にショーボンドマテリアルホームページ「樹脂製品の取り扱いについて」
「樹脂製品を安全にご利用いただくために」を必ず参照すること。
ホームページアドレス: <https://www.sb-material.co.jp/resin/download.html>
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。
取扱い後は、よく手を洗うこと。
- 接触回避: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 保管 :

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
電気機器は防爆構造とする。
取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。

許容濃度

- 管理濃度: 設定されていない。
- 許容濃度: 設定されていない。

保護具

- 呼吸器の保護具: 保護マスク
- 手の保護具: 保護手袋
- 眼の保護具: 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具: 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等:	液状
色:	白色
臭い:	ラテックス臭
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	データなし
燃焼または爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	データなし
比重:	1.0
自然発火温度:	データなし
その他情報:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	通常取り扱い条件下では安定である。
反応性:	水との反応性はない。
避けるべき条件:	加熱・高温・直射日光・氷点下
混触危険物質:	水を多量に含むため、水禁忌物質と同一場所での保管は避ける。
危険有害な分解生成物:	データなし

11. 有害性情報

急性毒性	経口:	分類できない
	経皮:	分類できない
	吸入:	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:		分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	区分2	H319 強い眼刺激
	成分情報:	界面活性剤
呼吸器感作性:		分類できない
皮膚感作性:		分類できない
生殖細胞変異原性:		分類できない
発がん性:		分類できない
生殖毒性:		分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露):		分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露):		分類できない
吸引性呼吸器有害性:		分類できない

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性:	分類できない
水生環境慢性有害性:	分類できない
生態毒性:	
魚毒性:	現在のところ知見なし
残留性/分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
土壌中の移動性:	情報なし
オゾン層への有害性:	情報なし

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物(廃液と廃プラスチック類の混合物)として許可を受けた専門業者に委託する。
乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様に処理する。
容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。

容器、機械装置等を洗浄した排液等を、地面や排水溝へ流さないこと。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上輸送： 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。

海上輸送： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送： 航空法に定められている運送方法に従う。

国連分類： 該当しない

国連番号： 該当しない

15. 適用法令

消防法： 該当しない

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法 通知物質57条2(通知対象物)： 該当しない

施行令第18条 名称を表示すべき有害物： 該当しない

有機溶剤中毒予防規則： 該当しない

化学物質排出把握管理促進法： 該当しない

化審法： 該当しない

16. その他の情報

注意事項：

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえませんので取扱いには充分注意して下さい。

新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。

本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS) : JIS Z 7253:2012)

2) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ

3) 原材料／製品メーカーSDS